

傍楽改革

はたらくかいかく



傍らの人を楽にすると書いて、「はたらく」。

かつて働くことをそんな風にとらえていた日本の先人たち。

まずは、いちばん身近な人の楽や楽しいを一生懸命に考えること。

この言葉には、次の時代の働き方のヒントが詰まっている。そう思うのです。

竹中工務店が大事にしている考え方のひとつ、「後工程はお客さま」。

それは次に作業をする人をお客さまと思い丁寧に仕事をしようという合言葉。

自分の仕事の先にいる人が、気持ち良く仕事ができるかを問い続ける。

ひとりひとりの行動は次へ次へと連鎖して、世の中にもつながっていく。

それはまるで、バトンを渡すようにして「傍楽」をつないでいくリレー。

そのリレーはいま、働き方改革と一体となって、

一緒に働く仲間たちを想って取り組まれています。

楽を創ること。楽しさを創ること。それは決して簡単なことではありません。

だけど一歩ずつ。その難しさと正面から向き合っていきたい。

創立から120年。仲間と共に築いてきた歴史と絆。

今日も傍らの人に真剣なまなざしを向けて。

時代とともに働き方を変えながら、新しい歴史を築いていきます。

想いをかたちに 未来へつなぐ

 TAKENAKA

株式会社竹中工務店

本社：〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 TEL 06-6252-1201

東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 TEL 03-6810-5000



120年前の時代を映してきた技法で
120周年の広告を作りました
「傍楽改革」メイキングムービーはこちら
<http://www.takenaka.co.jp/library/newspaper>

